

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、あなたや他の人々の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<本製品の施工について>

- 本製品は、認定研修を終了したエクシオール指定特約店様の施工を前提にしています。

<施工の前に>



注意

- 補助フレームフィックス枠の面材(アクリル板・アルミ樹脂複合板等、板厚3mm)は現場で手配してください。
- 上部方立・垂木掛け・方立取付けネジ(φ4×16ナベピアスネジ、φ4×30ナベピアスネジ)は現場で手配してください。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 本製品は標準仕様1.5間または標準仕様2.0間用です。2.5間以上や積雪仕様での施工は行わないでください。
- 本製品は、1階設置用です。2階以上には設置しないでください。
- 本製品は躯体取付け専用のため、躯体から独立して設置しないでください。汎用型材のLアングル等を用いて補助フレームは必ず躯体と締結させてください。
- 躯体の飛び出し部位前面部または下面部への取付けとしてください。
- 補助フレーム間口寸法は躯体飛び出し部位より小さいものとしてください。
- 母屋の屋根から雪が直接落ちない場所に設置してください。落雪により、製品が破損するおそれがあります。

<施工上のご注意>

注意

- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- ボルト, ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト, ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。


<基礎工事について>

注意

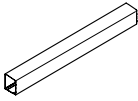
- 基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- コンクリート(またはモルタル)には、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など)は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、施工中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- 養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。

■ 梱包明細表

① 補助フレーム柱セット

名 称	略 図	員数
補助フレーム柱		1






② 補助フレーム桁セット

名 称	略 図	員数
補助フレーム桁		1


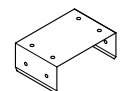
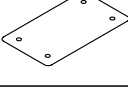






③ 補助フレームフィックス枠

名 称	略 図	員数
枠材ベース		3
枠材フタ		3
中帯		1
中帯目板		1
中帯取付金具		2
後付けビート		2
③-① φ4×16ナベピアスネジ		5
③-② φ4×13ナベピアスネジ		30
③-③ φ4.1×32丸木ネジ		14

④ 補助フレーム埋込みフィックス下枠

名 称	略 図	員数
埋込FIX下枠		1
埋込FIX下枠固定金具		2
④-① φ4×13ナベピアスネジ		4
④-② φ4.1×32丸木ネジ		3
④-③ φ4×12トラス タッピンネジ3種 D=8		4

⑤ 補助フレームキャップセット

名 称	略 図	員数
補助フレーム桁キャップ		2
補助フレーム柱・桁連結金具		2
補助フレーム桁裏板		2
補助フレーム桁パッキン 左		1
補助フレーム桁パッキン 右		1
⑤-① φ4×20トラス タッピンネジ2種(G=5)D=8		9
⑤-② φ5×10トラスタッピンネジ3種		9
⑤-③ φ5×14トラスタッピンネジ3種		9
⑤-④ M5用バネ座金		9
取付説明書	—	1

1. 基本寸法と各部の名称

※図は1.5間4尺の場合を示します。

1-1 基本寸法

(1) 躯体飛び出し部位前面部への取付け インナーデッキ仕様の場合

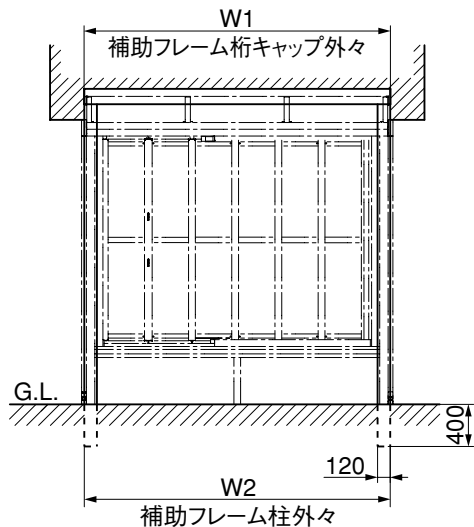


表1-1 寸法表

	W1	W2
1.5間	2911	2907
2.0間	3851	3847

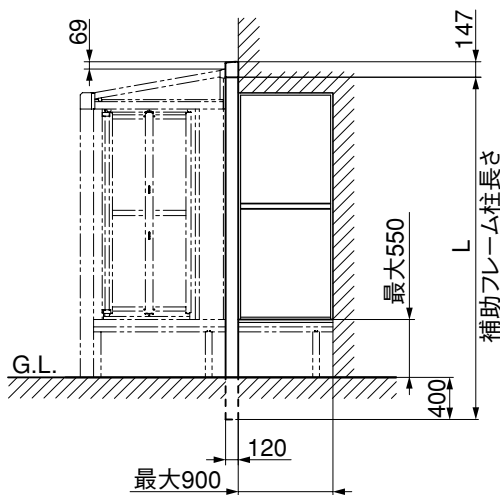


表1-2 寸法表 インナーデッキ仕様

	L	
	4尺	6尺
H=2000	3250	3356
H=2100	3350	3456
H=2300	3550	3656
H=2400	3650	3756

(2) 躯体飛び出し部位前面部への取付け 土間仕様の場合

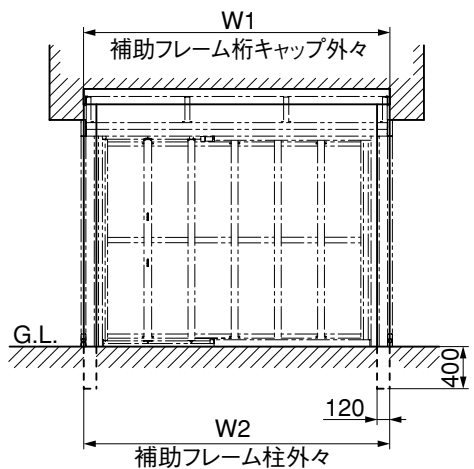


表1-3 寸法表

	W1	W2
1.5間	2911	2907
2.0間	3851	3847

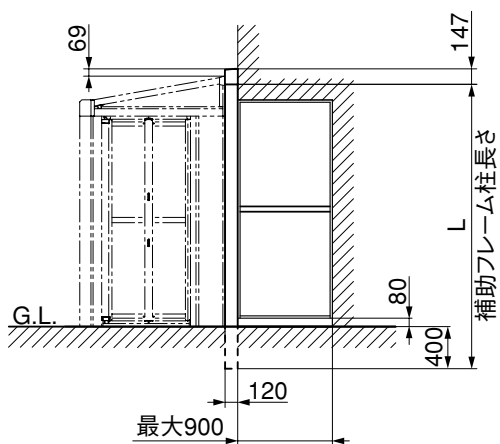


表1-4 寸法表 土間仕様

	L	
	4尺	6尺
H=2000	2700	2806
H=2100	2800	2906
H=2300	3000	3106
H=2400	3100	3206

補足

- デッキ仕様の場合は表1-4の寸法にデッキ高さを足してください。

(3) 躯体飛び出し位置下面部への取付け インナーデッキ仕様の場合

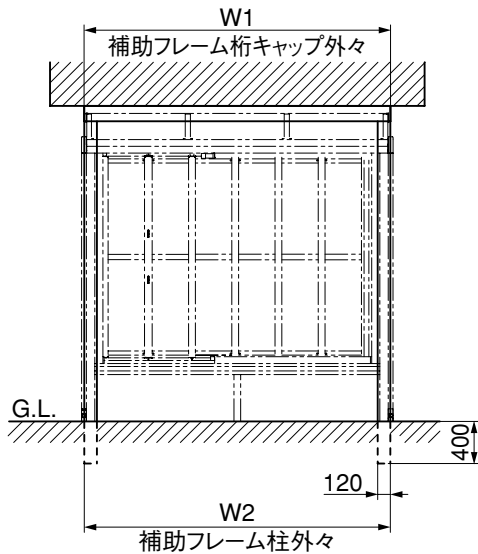


表1-5 寸法表

	W1	W2
1.5間	2911	2907
2.0間	3851	3847

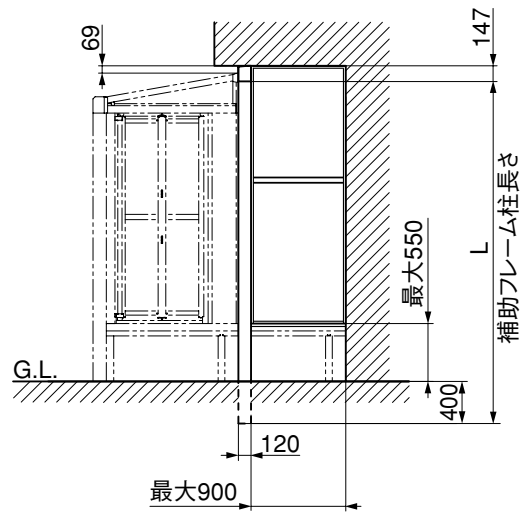


表1-6 寸法表 インナーデッキ仕様

	L	
	4尺	6尺
H=2000	3250	3356
H=2100	3350	3456
H=2300	3550	3656
H=2400	3650	3756

(4) 躯体飛び出し位置下面部への取付け 土間仕様の場合

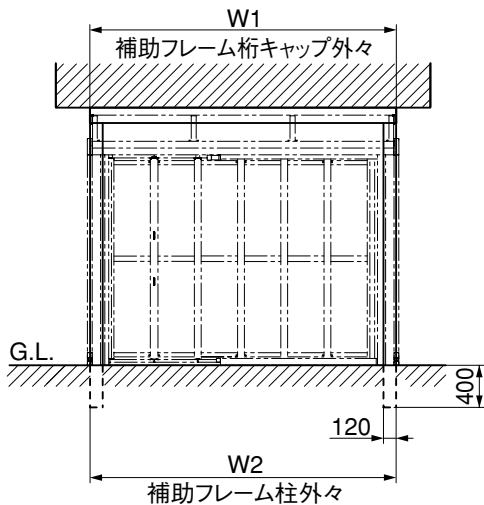


表1-7 寸法表

	W1	W2
1.5間	2911	2907
2.0間	3851	3847

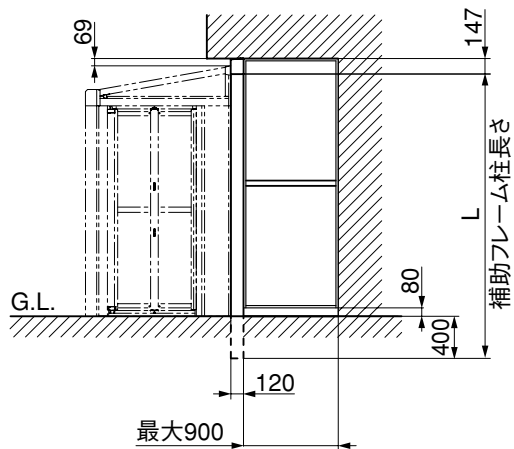


表1-8 寸法表 土間仕様

	L	
	4尺	6尺
H=2000	2700	2806
H=2100	2800	2906
H=2300	3000	3106
H=2400	3100	3206

 補足

- デッキ仕様の場合は表1-8の寸法にデッキ高さを足してください。

1. つづき

1-2 各部の名称

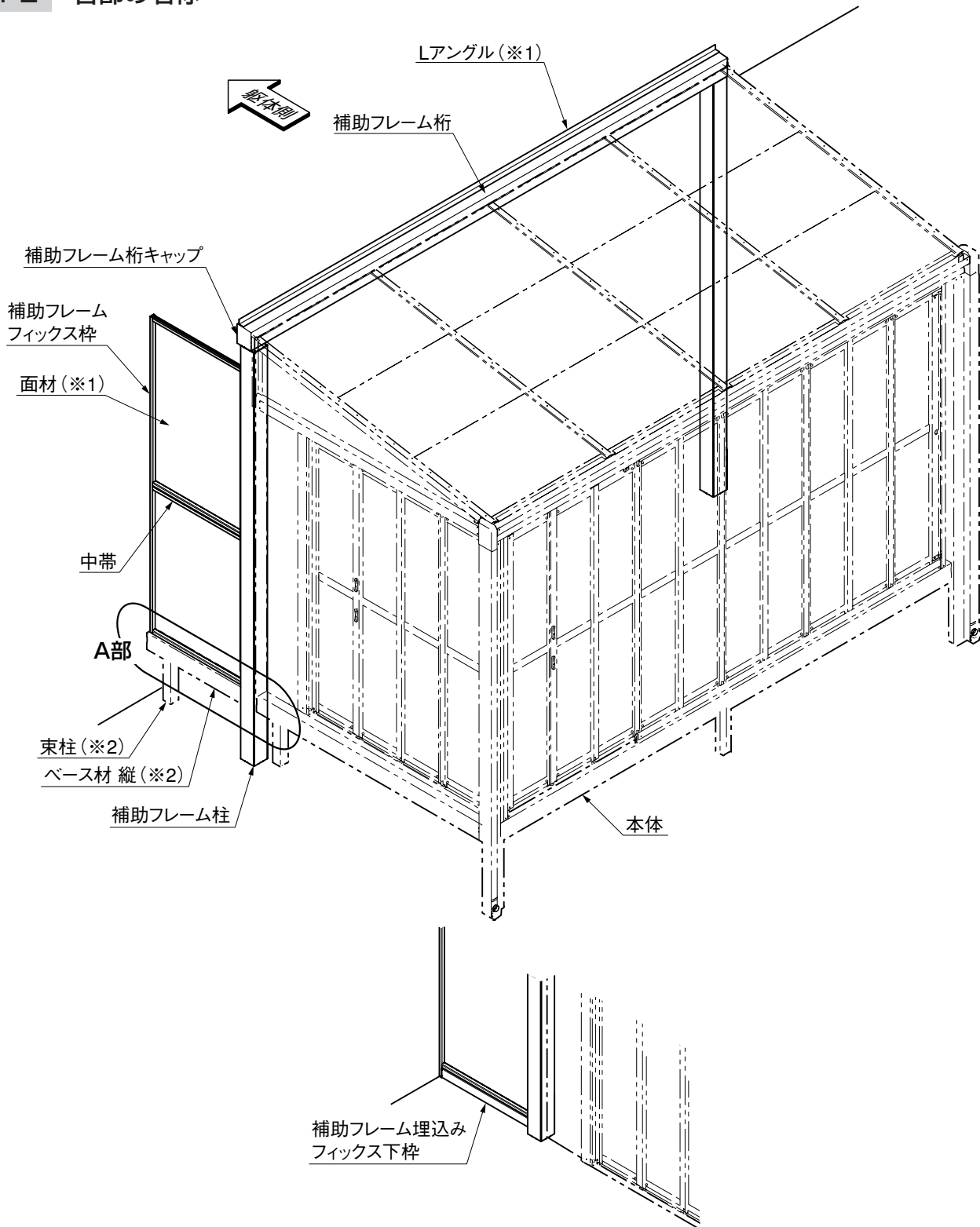


図1-1 土間仕様で内面デッキ
または床立ち上げ仕様の場合のA部

補足

- 面材、Lアングルは現場で手配してください。(※1)
- 補助フレーム柱よりも躯体側の床面仕上げに必要な部材は、別途必要数用意してください。(※2)

2. 補助フレーム桁・補助フレーム柱の加工

(1) 補助フレーム桁の加工

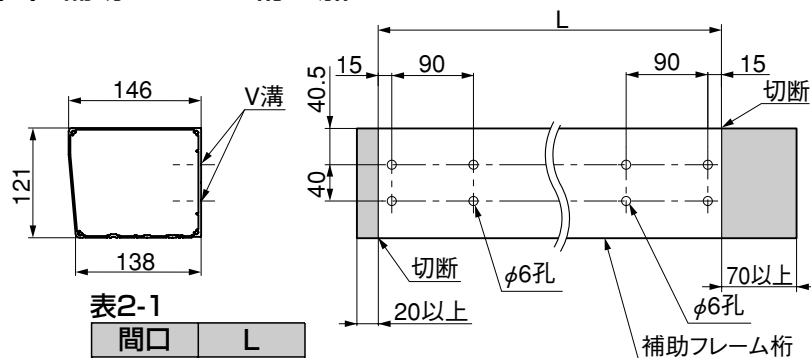


表2-1

間口	L
1.5間	2907
2.0間	3847

図2-1

① 図2-1、表2-1を参照して、補助フレーム桁を切断・加工してください。

ポイント

- 汎用部品のため両端部は、使用できません。指定寸法を切断してください。(図2-1参照)

(2) 補助フレーム柱の加工

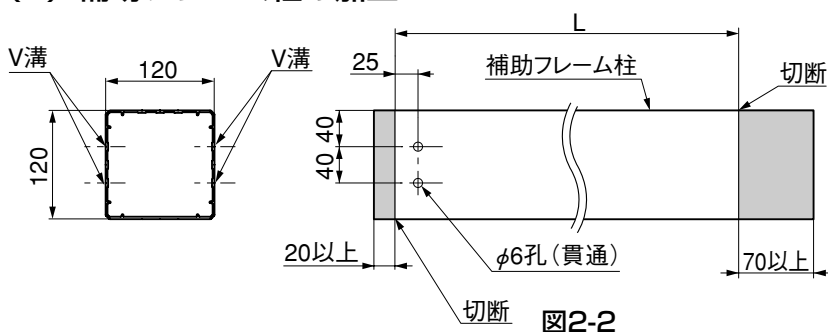


図2-2

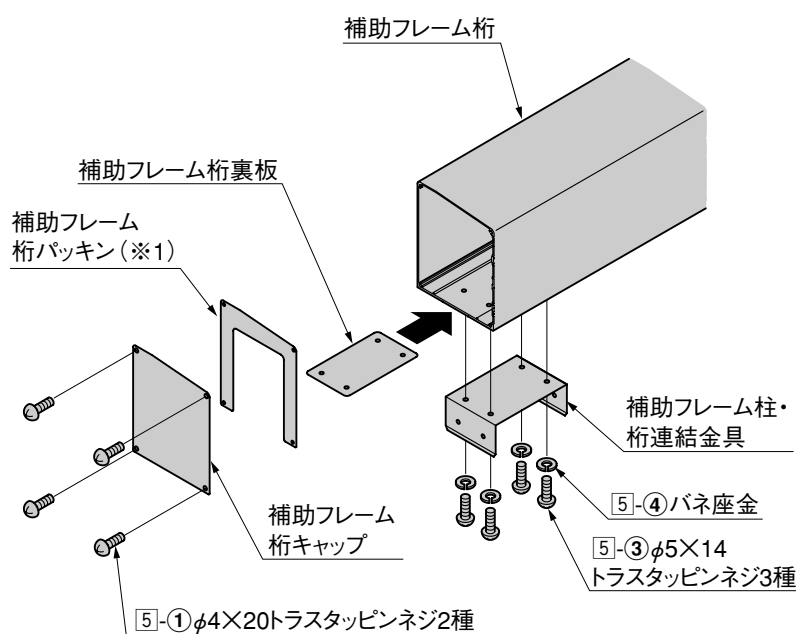
① 図2-2および「1. 基本寸法と各部名称 1-1 基本寸法」を参照して、補助フレーム柱を切断・加工してください。

ポイント

- 汎用部品のため両端部は、使用できません。指定寸法を切断してください。(図2-2参照)

3. 補助フレーム桁・補助フレーム柱の組立て

3-1 補助フレーム桁の組立て



① 補助フレーム桁に補助フレーム桁裏板および補助フレーム柱・桁連結金具を⑤-④、⑤-③で取付けてください。

② 補助フレーム桁パッキン(※1)を補助フレーム桁キャップの形状にあわせて貼付けてください。

ポイント

- 補助フレーム桁パッキンには左右があります。(※1)
- 補助フレーム桁キャップに貼付けるときに、形状が正しいことを確認してください。

③ 補助フレーム桁キャップを補助フレーム桁に⑤-①で取付けてください。

3. つづき

3-2 補助フレーム柱の建込み

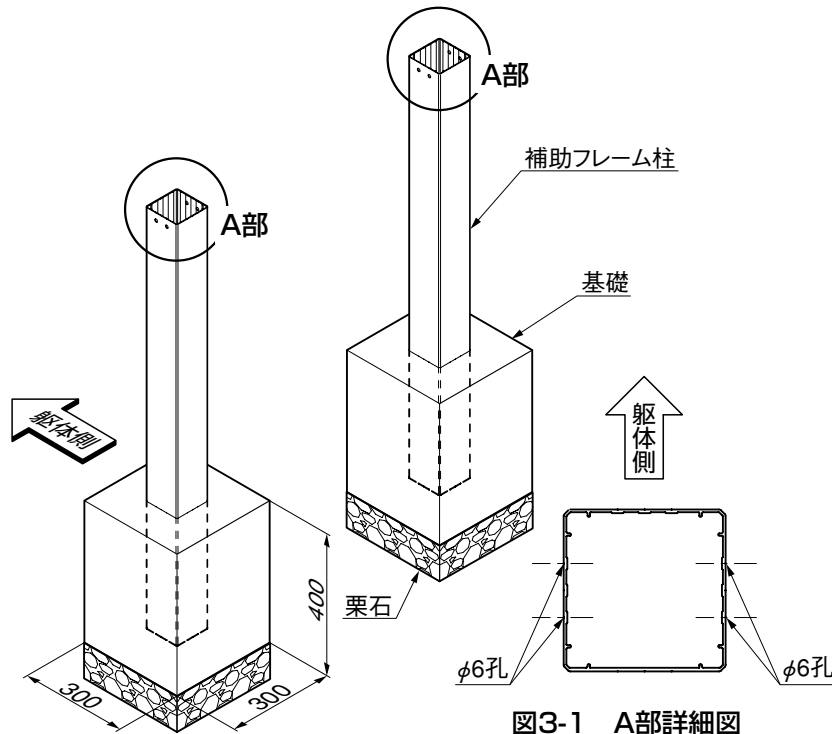


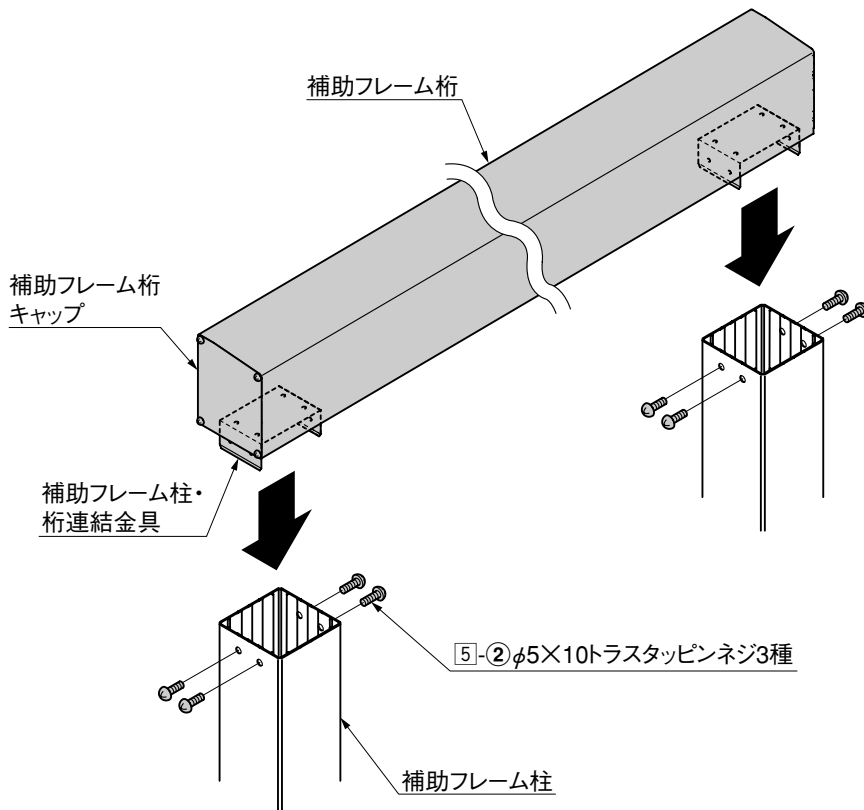
図3-1 A部詳細図

- 「1. 基本寸法と各部名称 1-1 基本寸法」を参照して補助フレーム柱を建込んでください。

ポイント

- 「2. 補助フレーム桁・補助フレーム柱の加工」で加工した孔が躯体側より90°の向きになるように建込んでください。(図3-1参照)

3-3 補助フレーム桁と補助フレーム柱の組立て



- 補助フレーム柱に補助フレーム柱・桁連結金具を差込み、5-2で取付けてください。

3-4 施工寸法の確認と固定

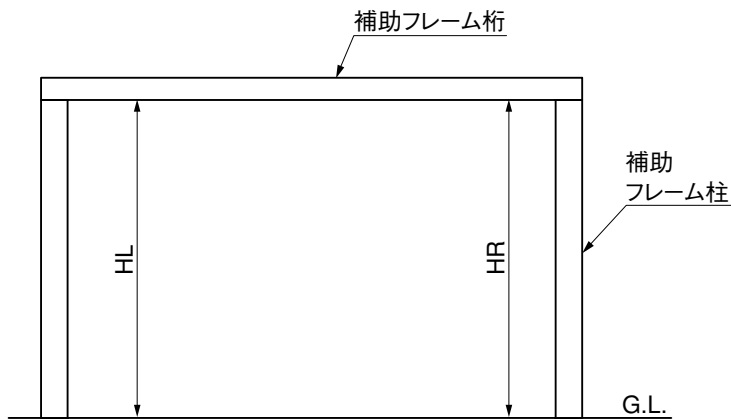


図3-2

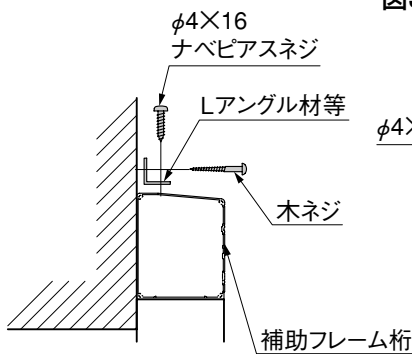


図3-3

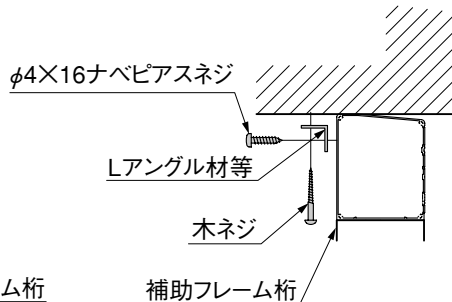


図3-4

- ① G.L.～補助フレーム桁下面までの高さHR、HLを採寸してください。
- ② 採寸したHR、HLが「1. 基本寸法と各部の名称」のL-400mmと等しいことを確認してください。
HR、HL=L-400mm
- ③ 補助フレーム柱の垂直を確認してください。

ポイント

- G.L.～補助フレーム桁下面までの高さHR、HLは採寸位置によって高さが異なる場合があります。必ず、補助フレーム柱に近い位置で各々採寸してください。

- ④ 補助フレーム桁と躯体を汎用形材のLアングル材等を用いて、締結させてください。(図3-3、図3-4参照)

補足

- φ4×16ナベピアスネジ、木ネジは現場で手配してください。

3-5 垂木掛けの取付け

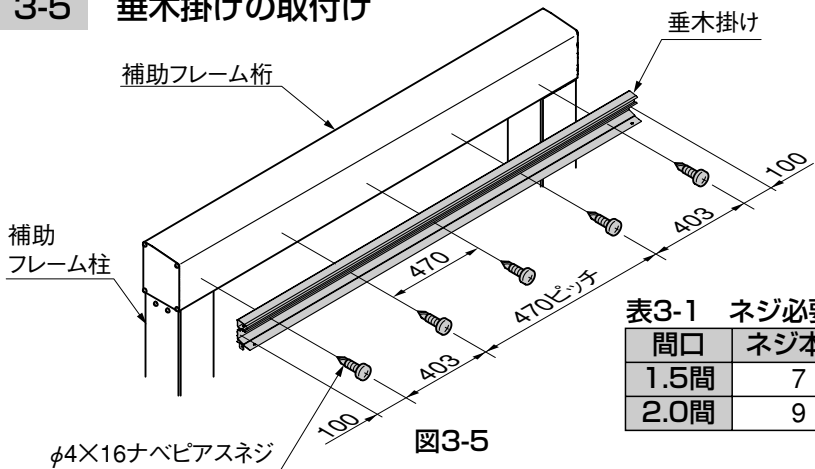


図3-5

表3-1 ネジ必要数

間口	ネジ本数
1.5間	7
2.0間	9

- ① 垂木掛けを補助フレーム桁にφ4×16ナベピアスネジで取付けてください。

補足

- 補助フレーム桁の下面から33mmの位置(※1)に垂木掛けのV溝が合うように取付けてください。(図3-6参照)
- φ4×16ナベピアスネジは現場で手配してください。(図3-5、表3-1参照)

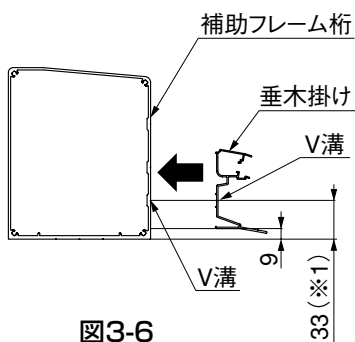


図3-6

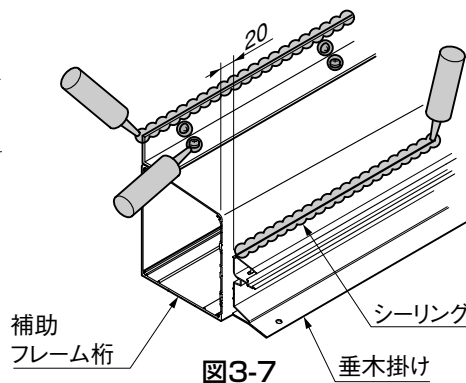


図3-7

ポイント

- 垂木掛けよりも補助フレーム桁が左右20mmずつ出る位置で固定してください。(図3-7参照)
- 指定の箇所必ずシーリングしてください。(図3-7参照)

4. 補助フレーム埋込みフィックス枠の取付け

※土間仕様で内面デッキまたは床立ち上げ仕様の場合の作業です。

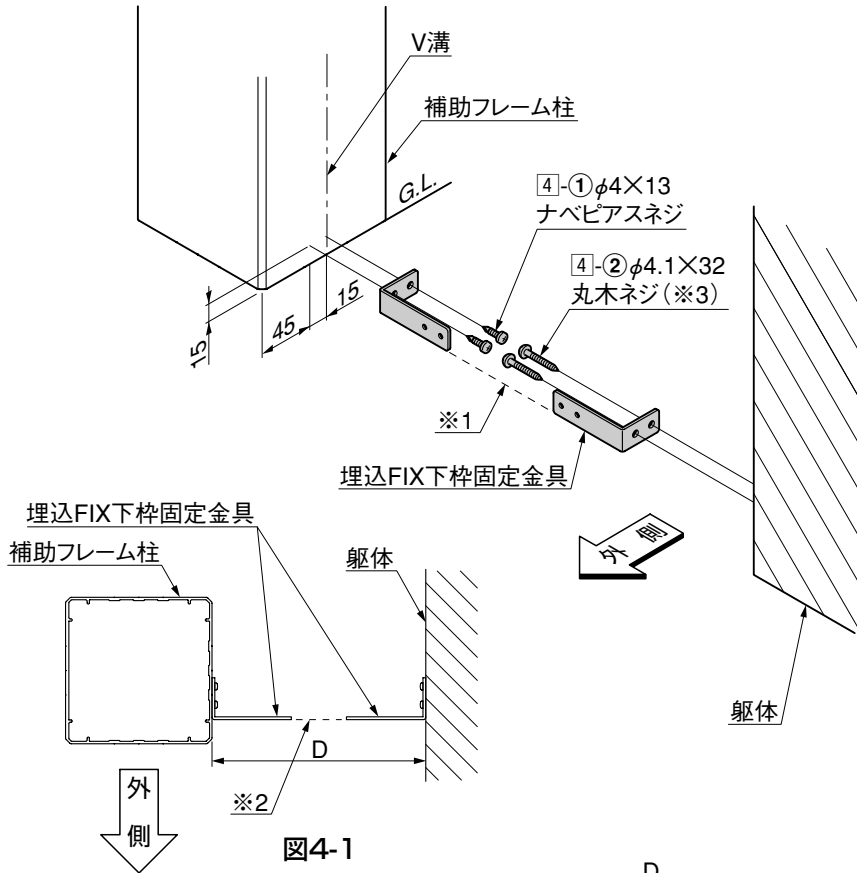


図4-1

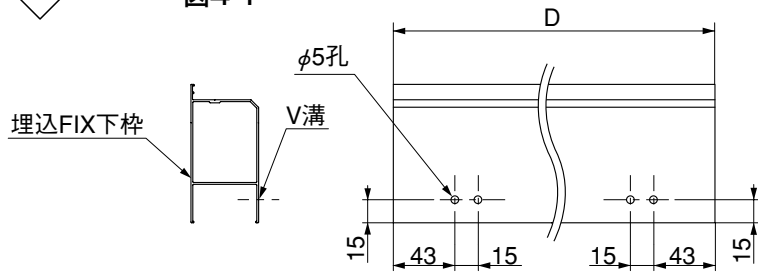
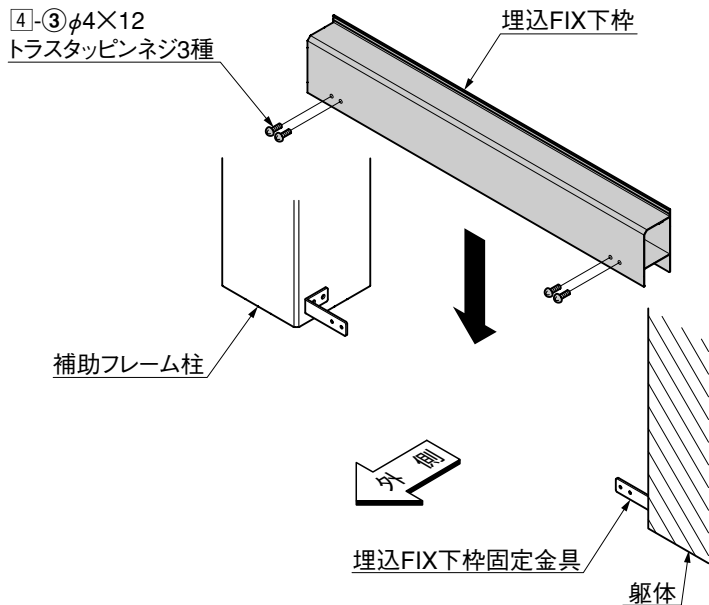


図4-2



- 1 補助フレーム柱と躯体に埋込FIX下枠固定金具を4-1または4-2で固定してください。

ポイント

- 埋込FIX下枠固定金具は補助フレーム柱側と躯体側で高さ通りをそろえて取付けてください。(※1、※2、図4-1参照)
- ※3の躯体側への取付けネジは躯体面にあわせて使用してください。4-2以外のネジ等の取付け部品は現場にて手配してください。

- 2 図4-1のD寸法を計測し、埋込FIX下枠を切断・加工してください。(図4-2参照)

- 3 埋込FIX下枠を埋込FIX下枠固定金具に4-3で取付けてください。

5. 補助フレームフィックス枠の取付け

5-1 枠材ベースの取付け

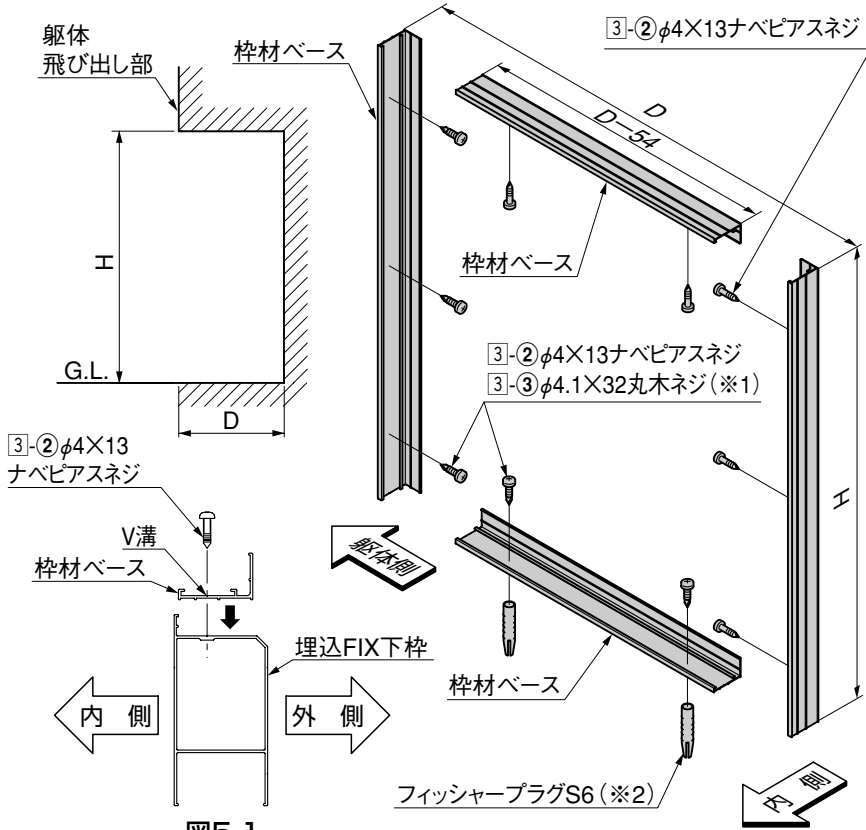


図5-1

① 躯体飛び出し部の寸法を測り、枠材ベースを加工して補助フレーム柱および躯体へ③-②もしくは③-③で取付けてください。

ポイント

- ※1は躯体側取付け面にあわせて取付けネジを③-③に変更してください。
- 土間仕様の場合は取付けネジを③-③に変更してフィッシャープラグS6を使用してください。フィッシャープラグS6は現場手配してください。(※2)
- 埋込FIX下枠を使用している場合は図5-1を参照して取付けてください。

5-2 中帯・中帯目板の取付け

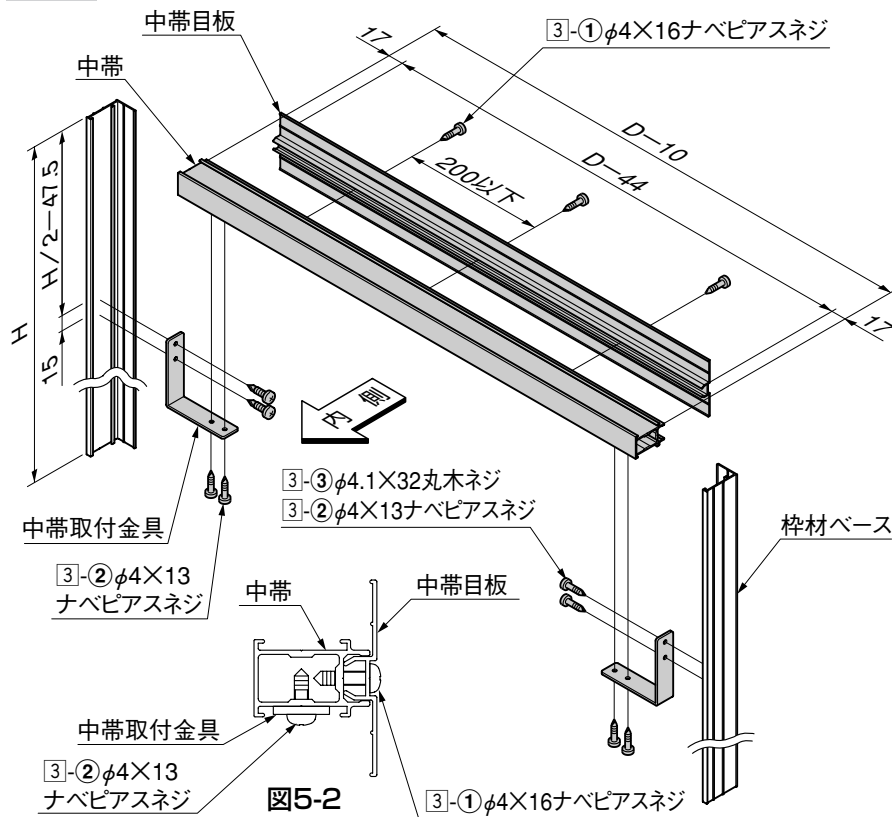
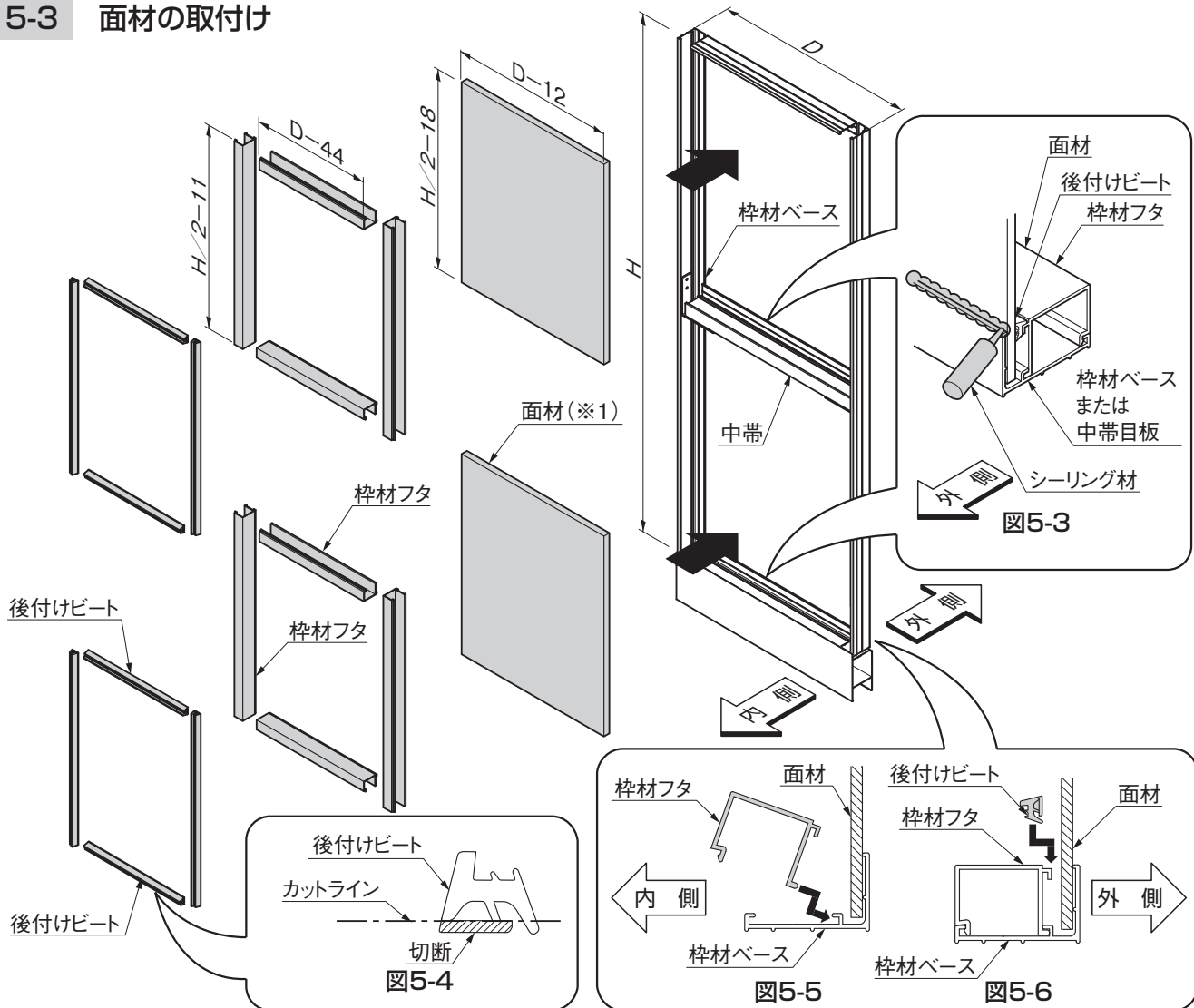


図5-2
中帯部断面図

- ① 中帯取付け金具を現場にあわせて枠材ベースに③-②もしくは③-③で取付けてください。
- ② 中帯と中帯目板を③-①で取付けてください。(図5-2参照)
- ③ ②で取付けた中帯・中帯目板を中帯取付け金具に③-②で取付けてください。

5. つづき

5-3 面材の取付け



① 枠材ベース・中帯に面材をはめ込んだ後、枠材フタを押し込んでください。(図5-5参照)

ポイント

- 面材 (アクリル板・アルミ樹脂複合板等、板厚3mm) は現場で手配してください。(※1)
- 枠材フタは先に左右を取付けてから上下を取付けてください。

② 後付けビートを四方の枠に押し込んで面材を固定してください。(図5-6参照)

補足

- 後付けビートが入りにくい場合は斜線部分を切断してください。(図5-4参照)

③ 枠材の外面をシーリングしてください。(図5-3参照)

ポイント

- 指定の箇所に必ずシーリングをしてください。(図5-3参照)

取説コード

E175

UNA604203C
200503A_1039
201607D_1048